

## 平成25年度事業報告

### 1 会議の開催

#### (1) 総会

##### ア 定時総会

平成25年6月19日(水) 出席397社(委任状によるもの234社)  
名古屋東急ホテル「錦の間」

##### イ 臨時総会

平成26年3月18日(火) 出席389社(委任状によるもの240社)  
東京第一ホテル錦「ブリランテの間」

#### (2) 理事会

平成25年6月19日、9月19日、12月6日、平成26年3月18日

#### (3) 支部会議

18回

#### (4) 労災保険収支改善対策推進協議会

2回

#### (5) 専門委員会等

5回 (うち、労務単価研究会1回)

### 2 警備業務の適正化に関する指導及び調査研究

#### (1) 委員会、部会及び支部活動の強化

ア 総務、広報、労務、業務及び教育センター運営委員会を開催し、所掌事項の研究と協会事業の円滑な推進に努めた。

イ 青年部会は、若手経営者の相互研さん・交流を通じ、企業活動の発展と業務の適正化を目指した勉強会3回及び年末防犯パトロールを実施した。

ウ 各支部において、次のとおり研修会等を開催した。

(ア) 平成25年4月22日(月)北東支部、4月24日(水)ビルメン支部、4月26日(金)中支部、5月8日(水)西支部、南支部、5月10日(金)三河支部では、愛知県警察本部警備業担当官を講師に招き、警備業における当面の諸問題について、研修会を開催した。

(イ) 平成25年7月19日(金)南支部では、管内の某会社を支部長以下10社15名が見学し、警備体制、施設警備業務の課題、警備員の資質向上など各社の実態と情報交換を行い、今後の配置基準に向けた勉強会を実施した。

(ウ) 平成25年11月15日(金)北東支部では、3人の講師を招き、警備業と社会保険(鈴木講師)、労務管理(阿萬講師)、暴排(森井講師)について研修会を開催した。

(エ) 平成25年12月11日(水)中支部では、中警察署生活安全課長を講師に招き、管内の犯罪情勢及び警備業の諸情勢について研修会を開催した。

#### (2) 労務単価・社会保険問題への取り組み強化

- ア 平成25年7月17日(水)当協会研修室において、2号業者(93社、106名)に対し、国土交通省中部地方整備局から講師に招き「労務単価及び社会保険問題研修会」を開催した。
- イ 労務単価、社会保険問題研究部会を2回(4月18日、8月30日)、同委員会を1回(9月19日)開催し、全会員に対し「社会保険未加入問題に関するアンケート」を実施した。
- ウ 当協会専務理事が、5月31日に国交省中部地方整備局技術管理課長と情報交換、6月20日には(一社)愛知県建設業協会専務理事と意見交換を行った。
- エ 9月27日(金)名古屋ダイヤビルディングにおいて、警備業の更なる発展を応援する議員連盟との意見交換会に参加し、意見要望等を行った。
- オ 10月25日(金)当協会会議室において、平成25年度労務単価研究会を開催した。58社66名が参加し、国土交通省、農林水産省による公共事業労務費調査への的確な対応と適正な警備業料金の確保に向け緊密な連携を図った。
- (3) 経営者及び安全衛生管理者研修会の開催  
 警備業務の適正化及び企業モラルの高揚、労災事故の防止を図るため、部外講師、愛知県警察本部警備業担当及び愛知労働局から講師を招き、経営者及び管理者の研修会を開催した。
- ア 経営者研修会の開催  
 開催日 平成25年10月17日(木)  
 場 所 東京第一ホテル錦「ブリランテの間」  
 参加者 176社、203名  
 内 容 ・「建設企業の社会保険未加入対策」  
 国土交通省中部地方整備局 建設産業課長 伊藤 光一氏  
 ・「犯罪情勢と警備業の概況」  
 警察本部生活安全部 生活安全総務課長 渡邊 彰氏
- イ 安全衛生管理者研修会の開催  
 開催日 平成26年2月4日(火)  
 場 所 東京第一ホテル錦「ブリランテの間」  
 参加者 155社、171名  
 内 容 ・「社会保険の加入について」  
 社会保険労務士 竹尾 祥子氏  
 ・「第12次労働災害防止計画について」  
 愛知労働局労働基準部安全課 産業安全専門官 鈴木 孝典氏  
 ・「警備業における受傷事故防止」  
 警察本部生活安全総務課警備業係 警備補 近藤 弘幸氏
- (4) 労災事故防止活動の充実  
 ア 「愛警協だより」による会員への重大労災事故事例紹介等のほか、交通誘導警備員の事故防止と誘導技術の向上を図るため、関係警察署の支援を受け、業務委員会及び各支部長が中心となり合計10回の安全パトロールを実施し現場指導を行った。また、指導結果については、「愛警協だより」で注意喚起を呼びかけた。

- ・平成25年 6月 4日(火) 南支部 港警察署管内
- ・平成25年 6月 7日(金) 北東支部 西枇杷島警察署管内
- ・平成25年 8月21日(水) 西支部 一宮警察署管内
- ・平成25年10月 2日(水) 北東支部 名東警察署管内
- ・平成25年10月 4日(金) 西支部 中村警察署管内
- ・平成25年10月22日(火) 中支部 中警察署管内
- ・平成25年11月11日(月) 西支部 西警察署管内
- ・平成25年11月13日(水) 南支部 昭和警察署管内
- ・平成26年 2月18日(火) 西支部 稲沢警察署管内
- ・平成26年 2月20日(木) 三河支部 豊橋警察署管内

イ 全国警備業協会主唱の労働災害防止「論文・ポスター・標語」の公募等に参加するとともに、愛知労働局及び関係協会と連絡協調を図り、労働安全衛生対策を積極的に推進した。

また、労務委員会の委員として長年にわたり業界の労働安全衛生に貢献した功勞により佐藤健五氏が、平成25年10月30日、中央労働災害防止協会会長から緑十字賞を受賞した。

### 3 法令等の規定に基づく研修等の委託事業

#### (1) 警備員指導教育責任者等の講習

愛知県公安委員会からの受託講習を延19回(受講者計722名)開催した。

##### ア 警備員指導教育責任者新規取得講習

実施回数 9回 受講者(受験者) 329(325)名 合格者 272名  
合格率 83.7%

##### イ 警備員指導教育責任者追加講習

実施回数 4回 受講者(受験者) 88(88)名 合格者 85名  
合格率 96.6%

##### ウ 警備員指導教育責任者現任講習

実施回数5回 受講者 267名

##### エ 機械警備業務管理者講習

実施回数 1回 受講者(受験者) 38(38)名 合格者 25名  
合格率 65.8%

#### (2) 特別講習の充実強化

(一社)警備員特別講習事業センターからの委託事業である特別講習は、計20回開催し、受講者1,498名、合格者931名、合格率62.1%であった。

##### ア 施設警備業務1級特別講習

1回 受講者 70名 合格者 42名 合格率 60.0%

##### イ 交通誘導警備業務1級特別講習

1回 受講者 56名 合格者 31名 合格率 55.4%

##### ウ 雑踏警備業務1級特別講習

1回 受講者 70名 合格者 38名 合格率 54.3%

エ 施設警備業務 2 級特別講習

7 回 受講者 547 名 合格者 320 名 合格率 58.5%

オ 交通誘導警備業務 2 級特別講習

5 回 受講者 385 名 合格者 242 名 合格率 62.9%

カ 雑踏警備業務 2 級特別講習

3 回 受講者 215 名 合格者 148 名 合格率 68.8%

キ 貴重品運搬警備業務 2 級特別講習

2 回 受講者 155 名 合格者 110 名 合格率 71.0%

4 警備員及び警備員指導教育責任者等警備業務に従事する者に対する教育訓練並びに研修

(1) 集合法定教育の充実強化

ア 法定警備員教育の強化

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までに実施した法定警備員教育は、次のとおりであった。

区 分	会 員	非 会 員	計	対前年比
新任警備員教育	5,862 名	159 名	6,021 名	-488 名
現任警備員教育 (内出張教育)	5,826 名 (727 名)	129 名 (0 名)	5,955 名 (727 名)	-44 名 (-49 名)
計	11,688 名	288 名	11,976 名	-532 名

※ 新任警備員教育は延べ人員である。

イ 職業訓練校としての新任警備員教育

平成 3 年 4 月に職業訓練校として認定を受けて以来訓練を実施しているが、平成 25 年度中に認定訓練校生として警備員教育を行った人員は、次のとおりであった。

新任警備員教育受講者 1,907 名  
 (内訳) 施設警備業務 1,006 名  
 雑踏警備業務 901 名  
 (3 日間修了者を 1 名として計上)

(2) 警備員指導教育責任者研修会

開催日 平成 25 年 9 月 25 日 (水)  
 場 所 ナディアパークデザインセンタービル 3 階 デザインホール  
 参加者 指導教育責任者等 519 名  
 内 容 ・「リスク管理Ⅰ～労働関係法令と警備業」  
 (一社)名北労働基準協会 労務管理推進室長 藤原 朋子 氏  
 ・「リスク管理Ⅱ～交通事故の現状と安全運転管理」  
 (公社)愛知県安全運転管理協議会 専務理事 玉越 清美 氏  
 ・「立入検査結果からみた警備業務の問題点と対策」  
 愛知県警察本部生活安全総務課警備業係 課長補佐 倉地直文氏

(3) 機械警備業務管理者研修会

開催日 平成25年11月27日(火)  
場 所 愛知県警備業協会 4階 会議室  
参加者 49名  
内 容 ・「基地局からの指令要領」  
総合警備保障(株) 愛知ガードセンター長 森崎浩三氏  
・「迅速的確な指令業務について」「誤報の防止」  
愛知県警察本部地域部通信指令課 課長補佐 伊藤 哲哉氏  
・「適正な機械警備業務の実施」  
愛知県警察本部生活安全総務課警備業係 係長 大島 博史氏

(4) 講師陣の強化充実

ア 講師体制の確立

当協会講師体制(平成25年4月1日現在)

- ・警備員指導教育責任者講習講師 51名
- ・特別講習講師 54名

イ 講師合同研修会の開催

各講習講師の知識、技能の向上と連絡協調を次のとおり図った。

(ア) 平成25年4月20日(土)、21日(日)の両日、当協会及びあいち自動車学校において、全国警備業協会から前島センター長以下7名の技術研究専門部員(技研講師)を招き、中部地区内特別講習講師富山県7名、石川県13名、福井県11名、岐阜県9名、三重県11名、愛知県26名の計77名が参加して中部地区講師合同研修会を開催した。

(イ) 平成25年12月3日(火)当協会警備員指導教育責任者講習講師、特別講習講師、教育センター講師及び警察本部生活安全総務課警備業担当者等62名が参加して合同研修会を開催した。

(5) 警備業に関する各種講習会への講師派遣

愛知県公安委員会及び(一社)警備員特別講習事業センターの委嘱を受けて実施した。

ア 警備員指導教育責任者等講習

新規取得、現任、追加及び機械管理者等 計19回

派遣講師 延187名

イ 特別講習

20回 派遣講師476名

ウ 公安委員会直接検定

2回 派遣講師 4名

5 警備業に関する功労者等に対する表彰

(1) 警察本部長・協会長連名表彰(平成25年6月19日表彰)

ア 功労団体

2団体(中京警備保障株式会社、株式会社ケー・ズコーポレーション)

イ 功労者

3名（田中 宏氏、橋本昭一氏、野村頼理氏）

ウ 教育関係等功労者

3名（松原 敬氏、加々本紘一氏、松本隆義氏）

(2) 警備員に対する表彰

ア 優良警備員（平成25年6月19日表彰）

108名

イ 特別功労警備員

犯人逮捕等に協力して、警備業務の信頼を高めた14名の警備員をその都度表彰した。

6 ホームページの運用、機関誌の発行その他広報啓発活動

(1) 機関誌等の発行

広報委員会において、協会及び業界の広報、会員の相互啓発を目的として、「セキュリティ・アイチ」を2回発行（40号（平成25年8月）、41号（平成26年1月））した。

また、会員に対する連絡事項をその都度「愛警協だより」（計47回発行）で伝達した。

(2) ホームページの全面的リニューアルと広報

ホームページ内に会員専用のログページを設け、部内広報の充実化及び連絡通知、情報交換に活用するなど会員の利便性とサービス向上を図り、新任・現任教育、特別講習、指導教育責任者講習の開催案内等をタイムリーに行うため、ホームページを全面的リニューアルし、平成26年4月1日に公開した。

7 各種出版物等の購入斡旋

協会発行の「法令集」等54種2,019冊、「実務警備員教育」等ビデオ・DVD等55巻、その他事故防止用具等の斡旋をした。

8 関係行政機関等の行う地域安全、防災及び事故防止活動等に対する協力並びに支援活動

(1) 青色防犯パトロール活動

平成22年度より県下の犯罪予防と地域住民の防犯意識の向上を図るため、活動地域内の管轄警察署との連携の下に犯罪多発地域をパトロール重点として、毎週土曜日に青色防犯パトロール事業を実施しているが、本年度も実施回数52回、車両運用延台数260台、車両走行距離26,952キロ、1日平均走行距離（5台分）は約500キロ以上の活動を展開し、実施地域の安心安全な街づくりに貢献した。

また、今年度も「警備業者のコンビニエンスストアへの立寄りに関する覚書」協定に基づくコンビニ店舗への立寄り活動を積極的に実施し、その回数は全実施地域内で1,859回であった。

(2) 諸行事への参加協力

(社)愛知県防犯協会連合会及び(公財)暴力追放愛知県民会議の賛助会員として、地域安全県民大会、暴力追放セミナーに出席した。

また、愛知県安全なまちづくり推進協議会、愛知県万引防止対策協議会及び名古屋市交通・生活安全市民会議の行う各種街頭キャンペーンにも参加したほか、愛知

県中警察署の行う年末警戒活動に中支部会員警備員10名及び青年部会員16名とともに参加した。

(3) 暴力排除活動

警備業務の実施に際して暴力団との係わりを遮断するため、契約書面における暴力団排除条項の導入を促進した。

平成26年3月18日(火)、東京第一ホテル錦において、「愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会」の定期総会を開催し、149社149名が参加し、平成25年度の事業報告と平成26年度事業計画案を採択した。

第2部では、「暴力追放セミナー」を開催し、県警担当官による講演「最近の暴力団情勢と排除対策」を聴講し、暴力団排除活動の推進を図った。

9 地域防災計画等に基づく大規模災害発生時における協力及び支援活動

(1) 「平成25年度愛知県・稲沢市総合防災訓練」に参加

平成25年9月1日(日)愛知県稲沢市地内「サリオパーク祖父江」において南海トラフ巨大地震を想定し、平成25年度愛知県・稲沢市総合防災訓練に野村西支部長以下21名の西支部会員の災害支援協力隊員が参加して、部隊編成、集合訓練、警察官と連携した緊急交通路確保訓練を実施した。

(2) 愛知県警察本部交通部主催による「災害時における交通規制訓練」に参加

平成25年8月31日(土)、南海トラフ巨大地震の想定により、警察官が行う緊急交通路指定路線での交通規制訓練に対し、当協会各支部の災害支援協力隊員16社52名が参加し後方支援活動訓練を実施した。

(3) 災害支援協力隊の災害警備訓練

平成25年11月7日(木)、小牧市内の小牧勤労センターにおいて、愛知県警察本部長との「災害時における交通の確保等の業務に関する協定」等に基づき編成された愛知県警備業協会災害支援協力隊の第4回災害警備訓練を愛知県警察本部災害対策課及び生活安全総務課の協力を得て実施した。

この訓練には隊長以下80名が訓練に参加し、東日本大震災における災害支援活動体験談(講演)、簡易レッカー取扱要領(愛知県警察機動隊指導)、部隊の基本動作、誘導灯による交通誘導、人命救助・三角巾の使用要領、護身術等の実技訓練を実施し、士気及び技能向上を図った。

(4) 警備員出動要請伝達訓練の実施

平成26年1月17日(金)、南海トラフ巨大地震を想定し、愛知県警察から出動要請の訓練協力を得て、遠距離間でも通話可能の高性能無線機及びFAXを使用して、災害対策本部・支部災害対策室の設置、警備員の派遣要請、派遣警察署の指定など協会独自計画による警備員出動要請伝達訓練を実施し、防災意識の高揚と伝達要領の習熟を図った。

10 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

(1) 一般社団法人移行後における公益目的支出実施事業の推進

平成24年4月1日付けで移行登記し「社団法人愛知県警備業協会」から「一般社団法人愛知県警備業協会」に移行後、公益目的支出計画の実施事業として、青色防犯パトロール事業・災害支援協力活動事業・教育事業(新任現任教育・特別講習)

の3継続事業を推進した。

(2) 個人情報の適正な取扱い

認定個人情報保護団体として認定された全国警備業協会と連携し、個人情報の適正な取扱いを図った。

(3) 協会への加入促進と認定証更新案内の実施

協会主催の各種研修会開催時、認定申請手続き相談時及び警備員法定教育委託相談等の機会に、協会へ加入するよう勧誘に努めた。平成25年度中の会員入退会は、正会員の入会13社、正会員の退会8社であった。

(4) 愛知県証紙及び諸用紙並びに警備業務用装備資器材等の販売あっせん

認定申請、その他各種申請・届出に必要な諸用紙を斡旋したほか、警備員指導教育責任者講習等の受講に必要な愛知県証紙を販売した。

(5) 中部地区各県警備業協会との連携

中部地区警備業協会連合会の会議を次のとおり開催したほか、中部地区警備業協会連合会事務局担当県として、各県協会及び全国警備業協会との連絡調整に努めた。

- ・春の会長等会議                      平成25年 4月20日      愛知県
- ・秋の会長等会議                      平成25年10月 8日      岐阜県
- ・中部地区事務局担当者会議      平成26年 2月27日      石川県

(6) 事務処理の向上

業務の増大に対応し会員サービスの向上を図るため、パソコン等OA機器を活用し、事務局の事務処理能力の向上に努めた。

(7) 慶弔・傷病に対する表意

会員等の葬儀告別式に生花、香典、弔電を供えた。

(8) 各種親睦行事の実施

会員相互の親睦を深めるため、新年交礼会及び会員懇親会等を開催した。